

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	ふたば			
○保護者評価実施期間	令和 8年 9月 14日 ～ 令和 8年 10月 9日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10 名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	令和8年 9月 1日 ～ 令和8年 9月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 10月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	入浴介助を実施できる環境が整っており、利用児の清潔保持や清潔習慣の形成を支援するとともに、保護者の負担軽減にも繋げている。	利用児一人ひとりの身体状況や発達段階に応じた入浴介助を行い、安全面やプライバシーに配慮しながら、安心して入浴できる環境づくりに努めている。	利用児一人ひとりの身体状況やニーズに応じた入浴支援の充実を図り、安全で快適に入浴できる環境づくりやスタッフ間での情報共有に努めていく。
2	多機能型事業所であるため、学校卒業後も生活介護を利用することができ、卒業後の生活を見据えた継続的な支援が可能である。	卒後の生活を見据え、利用児一人ひとりの発達状況や将来の希望に応じた支援を行うと共に、生活介護への移行を見据えた情報提供や連携を意識している。	卒後の生活を見据え、生活介護への円滑な移行に向けた支援を整えるとともに、関係機関や保護者との情報共有を図り、継続性のある支援の充実にも努めていく。
3	看護師の配置が充実しているため、利用児一人ひとりにスタッフが関わる体制があり、医療的ケアを必要とする児童にも対応できる。	保護者との情報共有を密に行い、利用児の体制や家庭での様子を把握すると共に、スタッフ間でも必要な情報を共有し、職員全体で共通認識を持って支援に当たれるよう意識している。	スタッフ間との連携を深め、利用児・ご家族のニーズの共有をすることで、よりきめ細やかな支援の充実を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全対策や災害時の対応、感染対策等に関する各種マニュアルについて保護者への周知が十分ではない。	各種マニュアルは整備されているが、保護者へ内容を周知する取り組みが十分ではなかった。	保護者が適切に対応できるように、内容や事業所の対応方針について、書面の配布や掲示・オープンチャットを活用し周知を徹底していく。
2			
3			